Shinfuji Burner

POWER TORCH

パワートーチ
RZ-840,840S,J840

生産物賠償責任保険付

取扱説明書

　このたびは、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
　本製品を安全に正しくお使いいただくためにご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき大切に保管してください。

■仕様

外形寸法：長さ150×幅25×高さ100mm(本体のみ)
重　　量：140g(本体のみ)
燃焼時間：約1時間10分(RZ-860使用時)※1
ガス消費量：253g/h(RZ-860使用時)※2
熱　　量：3.5kW(3,000kcal/h)(RZ-860使用時)※2
　　　　　2.8kW(2,400kcal/h)(RZ-850使用時)※2
火 口 径：φ20mm
火炎温度：最高1,400～1,600℃　最低1,000℃
点火方式：電子着火方式

※1　30分の連続燃焼データより換算したものです。
※2　10分間の燃焼データを1時間に換算したものです。

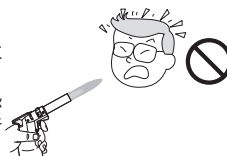
目次

◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある ⃠ マークは禁止、❗ マークは強制を表します。

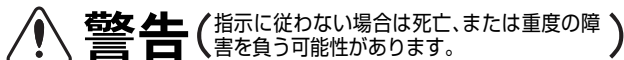
警告（指示に従わない場合は死亡、または重度の障害を負う可能性があります。）

■使用上の注意

●着火時および使用中は、火口を人体に向けたりのぞきこんだりしないでください。
●使用中および使用直後は火口、火口付近が熱くなっていますので可燃物を近づけたり手を触れたりしないでください。
●明るい所では炎が短く見えますが、高温の熱風がかなり遠くまで届きますので周囲の安全を十分確認してください。
●容器(ボンベ)は正しくセットしてください。容器(ボンベ)のセットが不十分だとガス漏れ事故の原因となります。
●炭の火起こしにご使用の際は、火が起きたらすぐに器具を消火し、火元から離して置いてください。
●火のついたまま容器(ボンベ)を取り外したり放り投げたりしないでください。やけど、火災の恐れがあります。

■使用容器(ボンベ)の取扱上の注意

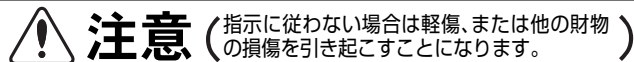
●容器(ボンベ)は必ず専用容器(ボンベ)RZ-860、RZ-850をご使用ください。
●容器(ボンベ)に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。
●使用容器(ボンベ)は、火気や直射日光（室内や車内の窓際など)を避け、キャップをして風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
●使用容器(ボンベ)をファンヒーターの前など熱気のあたる場所に放置しないでください。熱で容器(ボンベ)の圧力が上がり爆発する危険があります。
●保管してある容器(ボンベ)は、時々点検してサビが発生している場合にはできるだけ早くご使用ください。
●ご使用中は時々、正常に燃焼していることを確認してください。
●使用容器(ボンベ)を火の中に投じないでください。爆発して危険です。
●容器(ボンベ)に強い衝撃をあたえないでください。

◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある 🚫マークは禁止を表します。

警告（指示に従わない場合は死亡、または重度の障害を負う可能性があります。）

■使用済み容器（ボンベ）の処理に関する注意

●容器(ボンベ)にまだガスが残っている場合は、そのまま温度の高い所に放置したり、火の中に投入すると爆発する危険があります。

●容器(ボンベ)は完全に使いきってから他のゴミと区別して捨ててください。(各自治体の処理方法に従って捨ててください。)

注意（指示に従わない場合は軽傷、または他の財物の損傷を引き起こすことになります。）

■取扱上の注意

●換気の十分な場所で燃えやすい物や熱に弱い物からは十分離れた場所で使用してください。

●風の強い時は使用しないでください。

●火災は思いもかけぬことから発生することがありますのでご使用の際は火の元に十分ご注意ください。

●火口、空気孔にゴミ、異物を付着させたまま使用しないでください。異常燃焼をおこし故障の原因となるおそれがあります。使用前に必ず付着物のないことを確認してご使用ください。

●火口を炭等の燃焼物の中に入れないでください。自動点火装置等を破損するおそれがあります。また本体を加熱対象物に近づけすぎないでください。本体が破損するおそれがあります。

●緊急時以外で火口を水に浸けて急冷することは避けてください。自動点火装置が破損するおそれがあります。

●火口に指などを入れないでください。指が抜けなくなったりけがをするおそれがあります。

●ご使用中の時以は誤作動防止レバーをロックしてください。

●ご使用にならない時は容器(ボンベ)を取り外して保管してください。

●お子様の手の届かない所に保管してください。

●お子様には使用させないようにしてください。

■使用容器（ボンベ）

新富士バーナー製品専用容器（ボンベ）

POWER GAS PRO RZ-860、RZ-850

RZ-860

RZ-850

◆日常の点検・手入れ

■点検・手入れの際の注意

●日常の点検、手入れは必ず行ってください。

●点検･手入れは消火し、容器(ボンベ)を取り外し火口、火口付近が完全に冷めてから行ってください。

●故障または破損と思われるものは絶対使用しないでください。

●不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めになった販売店または、当社お客様係フリーダイヤル 0120-75-5000までご相談ください。

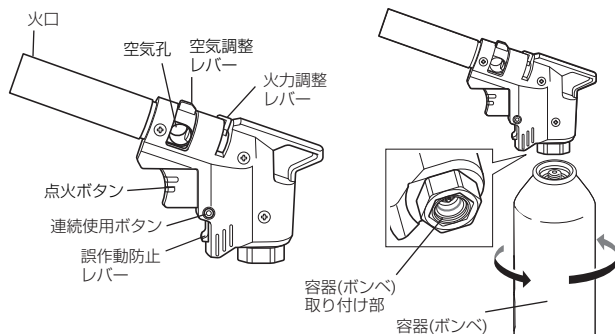
◆故障・異常の見分け方と処置方法

現象 / 原因	火力が弱い	炎の色が赤い	点火しない（ガスは出ている）	ガスが出ない	ガスの臭いがする	炎が吹き切れる	処理方法
ノズルのつまり	○	○		○			点検・修理を依頼する
燃料が残り少ない	○		○				新しい容器（ボンベ）と取り替える
容器(ボンベ)の温度が低い	○		○				容器（ボンベ）を室内に1時間ほど放置する
ガス噴出量が多い			○				火力調整レバーを(−)の方向に回しガスの噴出量を少なくする
容器(ボンベ)の温度が高い			○			○	火力調整レバーを少し(−)の方向に回しガスの噴出量を少なくする
点火装置の故障			○				点検・修理を依頼する
容器(ボンベ)の取り付け不良				○	○		容器（ボンベ）を取扱説明書どおりに取り付ける
ガス噴出量が少ない			○				火力調整レバーを(+)の方向に回しガスの噴出量を多くする

Shinfuji Burner

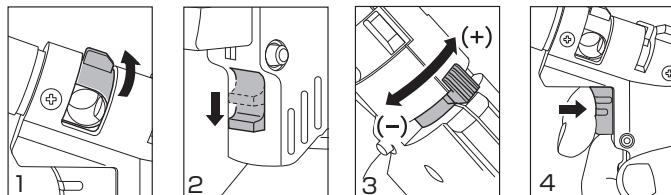
製造発売元
新富士バーナー株式会社
愛知県豊川市御津町御幸浜1号地1-3
TEL0533-75-5000(代)　FAX0533-75-5033
http://www.shinfuji.co.jp/　MADE IN JAPAN

■容器(ボンベ)の取り付け

1.連続使用ボタンが押し込まれてない状態で、点火ボタンがもどっていることを確認します。
2.容器(ボンベ)のキャップを外し、容器(ボンベ)先端部を本体の容器(ボンベ)取り付け部(ネジ式接合部)に正しくセットして矢印方向(右ネジ)に自然に止まる程度よりややきつめに締めます。
※この時強く締めすぎると本体が破損したり、容器(ボンベ)の先端部が破損または変形しガスもれやガスが出にくくなることがありますので注意してください。

⚠警告

ガス漏れに注意してください。容器(ボンベ)取り付け後、"シュー"というガス漏れの音やガスの臭気がするときは、容器(ボンベ)が正しく取り付けられていませんので、もう一度注意して確実に取り付けてください。それでも"シュー"というガス漏れの音やガスの臭気がするときは、使用を中止して点検・修理を依頼してください。

■点火

1.空気調整レバーを空気孔が全開になる位置(レバーが真上にある)にします。 ※空気孔が閉じていると点火できません。
2.誤作動防止レバーが解除(下側)の位置にあることを確認します。ロック(上側)の位置にある場合は下側に下げます。
3.火力調整レバーは中央より(+)の方向の位置にします。
※(−)の位置では点火できません。
4.点火ボタンを「カチッ」というまでゆっくり押して点火、青色の炎が出ることを確認します。点火しない場合は点火ボタンを繰り返し押して点火します。
※点火ボタンを押す操作が早すぎると点火しにくい場合があります。
※点火ボタンを押している間、炎が出ます。点火ボタンから指を離すと点火ボタンがもどり、消火します。

⚠注意

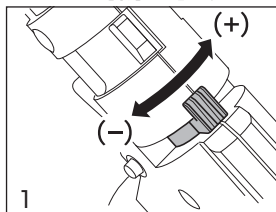
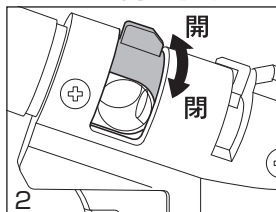
ガス量が少な過ぎたり多過ぎたりすると点火がしにくくなります。ガス量を調節しながら点火してください。気温、風、湿度等の自然条件により点火条件が変わります。気温が高い時は火力調整レバーを(−)方向に、気温が低い時は火力調整レバーを(+)の方向にして点火してください。

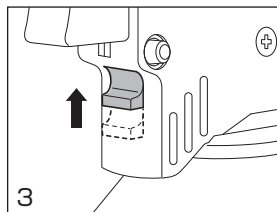
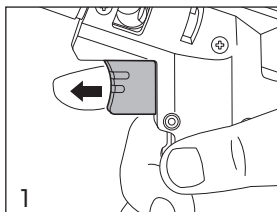
⚠注意

使い初めの容器(ボンベ)を使用する時や35℃以上の高温時には生ガス(気化していない白い霧状のガス)が出て炎が大きく立ち上がることがあります。その際は火のついたまま容器(ボンベ)を垂直に置き、生ガスが出なくなるまで2〜3分間燃焼させてから使用してください。

■火力調整、空気調整

1.火力の調節は炎を確認しながら火力調整レバーで調整します。
2.空気調整レバーを回すことにより空気の流入量が調整できます。使用目的に合わせて調整します。
※空気調整レバーの位置が真上にある時が空気孔が全開の状態です。空気調整レバーを真上から約45度回し止まる位置が空気孔が全閉の状態です。

火力調整方法

空気調整方法

■消火・誤作動防止

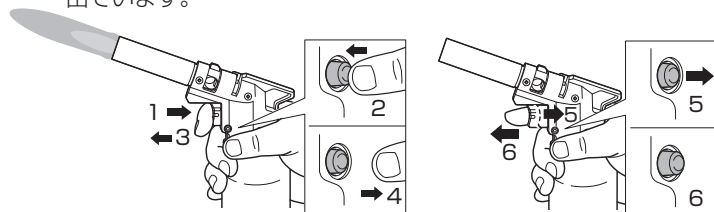
1.点火ボタンから指を離すと点火ボタンが元にもどり消火します。
2.完全に消火したことを確認後作業を終了します。
※火口、空気孔部も完全に消火したことを確認してください。
※容器(ボンベ)を必ず取り外して保管してください。
3.点火の誤作動を防ぐため、誤作動防止レバーを上側にし、ロックします。

■連続使用時の点火、消火

連続使用ボタンを使用することにより、指を点火ボタンから離した状態で燃焼を続けることができます。

点火

1.点火ボタンを「カチッ」というまで押して点火、青色の炎が出ることを確認します。
2.点火ボタンを押したまま、連続使用ボタンを押し込みます。
3.連続使用ボタンを押し込んだまま、点火ボタンから指を離します。
4.連続使用ボタンから指を離します。この時点火ボタンは押した状態で固定され、指を離しても燃焼状態が続きます。

消火

5.押した状態の点火ボタンをさらに軽く押します。この時連続使用ボタンがもどります。
6.点火ボタンから指を離すと点火ボタンがもどり消火します。完全に消火したことを確認します。
※消火は必ず点火ボタンをもどすことで行い、火力調整レバーでは行わないでください。火力調整レバーでは炎が消えても微量のガスが出ています。

⚠警告

真下に向けて連続使用しない

火口を真下に向けて連続使用しないでください。火口からの火炎や熱気が本体にかかり、破損するおそれがあります。